

# スイスプチ・パレ

## 美術館展

ルノワールからエコール・ド・パリへ

2022.2.II - 3.27

スイスのジュネーブにあるプチ・パレ美術館は、実業家オスカー・ゲーズ氏が収集した19世紀後半から20世紀初頭のフランス近代絵画の充実したコレクションを有します。この時期にフランスで生みだされた様々な様式や運動は、美術史上決定的な影響をもち、20世紀初頭のパリはまさに前衛芸術の都と呼ぶにふさわしい場所となりました。

本展では、印象派のルノワールから、ナビ派のモーリス・ドニ、フォーヴィスムのヴラマンク、キュビズムのアンドレ・ロート、エコール・ド・パリのユトリロや藤田嗣治、キスリングまで38作家の65作品をご紹介します。

同美術館のコレクションは、日本では約30年ぶり、東北では約40年ぶりに公開されるものです。この機会にフランス近代絵画の名品を楽しんでいただけたら幸いです。



オーギュスト・ルノワール《詩人アリス・ヴァリエール＝メルツパツハの肖像》1913年 スイスプチ・パレ美術館 ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE



## プチ・パレ美術館とは

スイスのジュネーブにあるプチ・パレ美術館は、チューンジア出身の実業家オスカー・ゲーズ氏（1905-1998）が収集したコレクションをもとに、1968年に設立されました。コレクションは、19世紀後半から20世紀初頭のフランス近代絵画の作品が核となっています。ゲーズ氏の死後、美術館の一般公開は行われていませんが、展覧会への出品協力を続けています。

## 3つの見どころ

### ベル・エポック の名品選

19世紀末から20世紀初頭の「ベル・エポック（良き時代）」の珠玉のフランス近代絵画が、約40年ぶりに東北に上陸します。

### ヨーロッパでも 見られません

創設者オスカー・ゲーズ氏の逝去後、プチ・パレ美術館は現在まで休館しています。日本で見られるこの機会をお見逃しなく！

### ヴァラドン ユトリロ 母から子へ

エコール・ド・パリを代表する画家のひとり、モーリス・ユトリロ。実は、彼の母シュザンヌ・ヴァラドンも画家であり、本展で共演を果たしています。

# 基本情報

- 展覧会名** スイス プチ・パレ美術館展 ルノワールからエコール・ド・パリへ
- 会期** 2022年2月11日(金・祝)～3月27日(日)
- 開館時間** 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 観覧料** 一般 1000(800)円  
高・大生、65歳以上 700(500)円  
※( )内は団体料金。  
中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。
- 主催** 郡山市立美術館

## 問い合わせ

- 郡山市立美術館 **担当学芸員** 田中有沙子・川上恵理  
〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2
- 電話** 024-956-2200
- FAX** 024-956-2350
- E-mail** [bijutsukan@city.koriyama.lg.jp](mailto:bijutsukan@city.koriyama.lg.jp)
- 公式サイト** <https://www.city.koriyama.lg.jp/bijutsukan/>

 [koriyama\\_artmuseum](#)

 [郡山市立美術館](#)